

## ■東京シンデレラマイル(SⅢ)アラカルト(過去全9回の分析)

※優勝馬にはTCK女王盃、エンプレス杯への優先出走権を付与

※記録は12月5日時点のもの

### ■重賞実績馬に注目

※3着内馬27頭中26頭に南関東重賞3着以内の実績があった。

※例外は第7回1着ビタースウィートのみ。

※上記26頭のうち23頭に重賞での連対実績があった。

### ■レディスプレリユード(旧TCKディスタフ)の上位馬の傾向

※同レース5着以内の馬は14頭が出走し、2勝、2着2回、3着2回。

◇第1回優勝ベルモントノーヴァ(TCKディスタフ4着)

◇第2回2着パノラマビューティ( " 3着)

" 3着オリビアフォンテン( " 5着)

◇第3回2着ラインジュエル( " 2着)

◇第4回優勝ザッハーメイン( " 1着)

◇第7回2着レッドクラウディア(レディスプレリユード3着)

### ■クイーン賞の上位馬の傾向

※同レース5着以内の馬は8頭が出走し、2勝、3着1回。

◇第3回優勝パノラマビューティ(同年のクイーン賞3着)

◇第4回優勝ザッハーメイン(同年のクイーン賞2着)

◇第7回3着サクラサクラサクラ(同年のクイーン賞2着)

### ■ロジータ記念の上位馬の傾向

※同レース5着以内の馬は15頭が出走し、1勝、2着4回。

◇第1回2着キノミスオース(同年のロジータ記念1着)

◇第4回2着プリマビスティー(同年のロジータ記念3着)

◇第5回2着ハルサンサン(同年のロジータ記念2着)

◇第8回優勝ノットオーソリティ(同年のロジータ記念1着)

◇第9回2着ララベル(同年のロジータ記念1着)

### ■5歳馬が3勝でリード

◇3歳馬 1勝、2着4回、3着1回。3着内率22.2%

◇4歳馬 1勝、2着2回、3着1回。3着内率14.8%

◇5歳馬 3勝、2着1回、3着3回。3着内率25.9%

◇6歳馬 2勝、2着2回、3着2回。3着内率22.2%

◇7歳馬 2勝、2着0回、3着2回。3着内率14.8%

### ■3歳牝馬クラシック上位組は苦戦

※同年の南関東牝馬クラシックの3着内馬は20頭が出走し、1勝、2着1回、3着1回。

- ◇第1回 12着ピュアーフレーム ←東京プリンセス賞3着  
13着シーホアン ←東京プリンセス賞2着
- ◇第2回 7着ハタノギャラン ←東京プリンセス賞2着  
8着ブライズメイト ←東京プリンセス賞1着  
12着インカローズ ←桜花賞2着
- ◇第3回 13着アンペア ←関東オークス3着  
14着エロージュ ←桜花賞3着
- ◇第4回 15着バックアタック ←桜花賞2着
- ◇第5回 3着マニエリスム ←東京プリンセス賞1着、関東オークス3着  
13着ラカンパーナ ←東京プリンセス賞3着
- ◇第6回 11着エンジェルツイート ←桜花賞3着、東京プリンセス賞2着  
14着コテキタイ ←桜花賞1着
- ◇第7回 9着イチリュウ ←桜花賞1着、東京プリンセス賞2着
- ◇第8回優勝ノットオーソリティ ←東京プリンセス賞2着  
9着スマートバベル ←東京プリンセス賞優勝  
10着テイクユアチョイス ←桜花賞3着  
15着シャークファンク ←桜花賞1着
- ◇第9回 2着ララベル ←桜花賞1着、東京プリンセス賞3着  
4着ティーズアライズ ←東京プリンセス賞1着  
12着スターローズ ←東京プリンセス賞2着

### ■船橋所属馬が6勝で優勢

- ◇TCK所属馬 3勝、2着4回、3着5回。3着内率44.4%
- ◇船橋所属馬 6勝、2着4回、3着4回。3着内率51.9%
- ◇川崎所属馬 0勝、2着1回、3着0回。3着内率3.7%
- ◇浦和所属馬 0勝、2着0回、3着0回。3着内率0.0%

### ■外国産馬は1勝

※2頭が出走し、第4回ザッハーメインが優勝。

### ■翌年年明けに行なわれるTCK女王盃との関連

※3着内馬27頭中15頭が出走し、1勝、3着1回。第2回2着パノラマビューティが3着、第5回2着ハルサンサンが1着。

### ■1番人気馬は1勝と不振

- ◇1番人気馬 1勝、2着2回、3着1回。3着内率44.4%
- ◇2番人気馬 2勝、2着4回、3着1回。3着内率77.8%
- ◇3番人気馬 1勝、2着1回、3着3回。3着内率55.6%

■前走2桁着順の馬にも注意

※全9回中5回は前走2桁着順の馬が3着内を確保。

※3着内馬全27頭中7頭が前2走とも掲示板(5着)を外していた。

■馬体重の増減はひと桁が理想

※3着内馬27頭中、馬体重10キロ以上の増減馬は2頭のみ。

■出川克己調教師が2勝

※出川克己調教師が第1回ベルmontノーヴァ、第4回ザッハーメインで2勝を挙げている。

※松代真調教師がパノラマビューティで第3回優勝、第2回で2着。

※鷹見浩調教師がビターズスイートで第7回を優勝。ラインジュエルで第3回2着、第4回3着。

※荒山勝徳調教師がブルーチップパーで第9回を優勝(同2着ララベルも)、第3回フサイチミライ3着、第7回レッドクラウディア2着、第8回レッドクラウディア3着。

■②番が2勝

馬番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
1着	1	2	0	1	0	1	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0
2着	1	1	0	0	1	1	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0
3着	2	0	1	0	2	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0